



# ふれあい

平成27年12月NO9  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴小学校内(教育相談室)

## 今月の内容は、研究授業と、勉強時間をつくり出す4つの工夫、です。

今月は、11月に草川小学校で行った算数の研究授業の様子と、平成27年度全国学力・学習状況調査のデータをもとに、「1日の生活の中で、勉強時間をつくり出す4つの工夫」という内容を紹介いたします。研究授業では、草川小学校の4年生が、元気いっぱい算数の勉強をする様子を紹介いたします。また、「1日の生活の中で、勉強時間をつくり出す4つの工夫」では、家庭で勉強時間を生み出すための工夫を紹介いたします。

### 草川小学校で研究授業を行いました！

デジタル教科書や書画カメラを活用した算数の授業です。

4年算数  
いろいろな形の四角形の面積を求めよう！



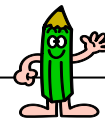
草川小学校の4年算数で、研究授業を行いました。四角形の面積を求める式を使って、複雑な形の四角形の面積を求める方法を考える学習です。この授業の中では、デジタル教科書や書画カメラを使って、図形を分けたり、合わせたりする様子が、目で見えて理解できるように工夫されて、どの児童にも、たのしく、わかりやすい授業になっていました。この日は、沢山の先生方も授業参観に来ていましたが、子どもたちは元気いっぱいに学習することができました。



書画カメラを使って発表する草川小学校の4年生です。

### デジタル教科書や書画カメラを活用しました！

授業では、デジタル教科書を使って問題が出されました。長方形の一部を切り取って、「くつ下」のような形になっている図形の面積を求める問題です。テレビの画面に、実際に図形を切り取る様子が映し出されると、児童は「わかったぞ」という顔をして、問題に取り組んでいました。その後、自分の考えた面積の求め方を、書画カメラを使って映しながら説明したり、みんなで解決方法を考えたりしました。



隣の友達とペアで話し合ったり、全体で話し合ったりして学習しました。

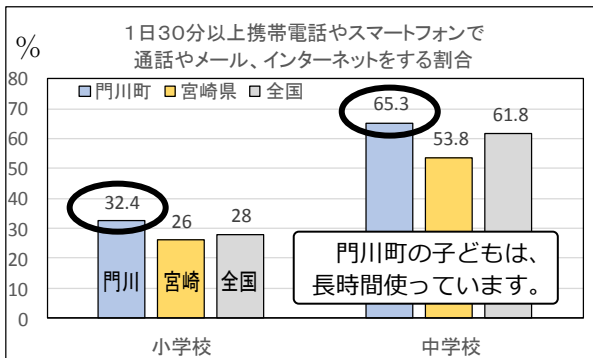
### 協力して学習しました！

門川町では、隣同士でペアになったり、グループになったりしながら学習する「学び合い」を大切にしています。学び合いの中で、人間関係やコミュニケーション能力、説明・発表能力を育てます。友達の話をしっかり聞いて、自分の考えと比べたり、自分の考えを友達に分かりやすく説明したりすることで、自分から進んで勉強する力を育てることができます。



# 1日の生活の中で、勉強時間をつくり出す4つの工夫！

勉強をがんばる子どもたちを、応援しよう！（かどがわ4か条）



門川町の小・中学生が、1日に30分以上、携帯電話やスマートフォンを使って通話やメール、インターネットをする割合は、宮崎県や全国の平均より高くなっています。このような時間が、家庭での生活時間の中心をしめて、勉強時間が少なくなっていることが心配されます。携帯電話やスマートフォンに依存する生活は、小・中学生の生活そのものをこわしてしまう恐れがあります。



## 工夫1 勉強時間をふやす目標を立てよう！

勉強時間を一度に2倍にすることはできませんが、10分のばすことはできます。今の勉強時間より少し長くする目標を立てて、がんばりましょう。そうすると、やがて気持ちも体もその時間になれてきます。集中力も長続きするようになり、学力アップにつながります。

## 工夫2 毎日の勉強時間を記録しよう！

カレンダーなどに、毎日の勉強時間を記録しておきましょう。自分の勉強のしかたがわかり、長く勉強できた時を思い出して、生活を見直すことができます。また、1か月の勉強時間の目標を50時間と立てて毎日記録し、目標達成をめざすということも効果的です。

## 工夫3 勉強中心の生活をつくろう！

遊んでから、テレビをみてから勉強するという生活では、勉強時間がなくなります。まず、勉強を先にすませ、その後ほかのことをするというように、勉強を中心とする生活に切りかえましょう。そうすると、今日は勉強ができなかった、時間が少なかったということがなくなります。

## 工夫4 例外の日をつくらないようにしよう！

休みの日や旅行に行く日は勉強しない、と勉強をしない特別の日をつくと、何かあると今日は勉強しない、という習慣をつくることになってしまいます。少しきついですが、特別の日をつくらぬという「がまんをする」ことも大切です。それが勉強をがんばりぬく力を育てます。

## 教育研究所からのメッセージ！

家庭での勉強時間の目安は、各学校で示されています。教育研究所は、小学6年は1時間以上、中学3年は2時間以上の勉強時間をすすめています。学力を高めるためには、家庭でどのような勉強をするかという勉強の中身も大切ですが、まずは、その学年にふさわしい勉強時間をしっかり確保する必要があります。もう一度、家庭での勉強時間は今のままでよいのかを考えましょう。そして、家庭ぐるみで、もう少し勉強時間をふやす工夫に取り組んでみましょう。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

〜〜返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）〜〜